

Reliance with heart

先進技術・独自技術の融合、差別化技術の創出

Professional Tool

唯一無二の存在

最新型 - ケミカル缶チャージ機能搭載



品番：RH-GM40YF-RN

R1234yf ゲージマニホールドキット



品番：RH-GM40A-RN

R134yf ゲージマニホールドキット

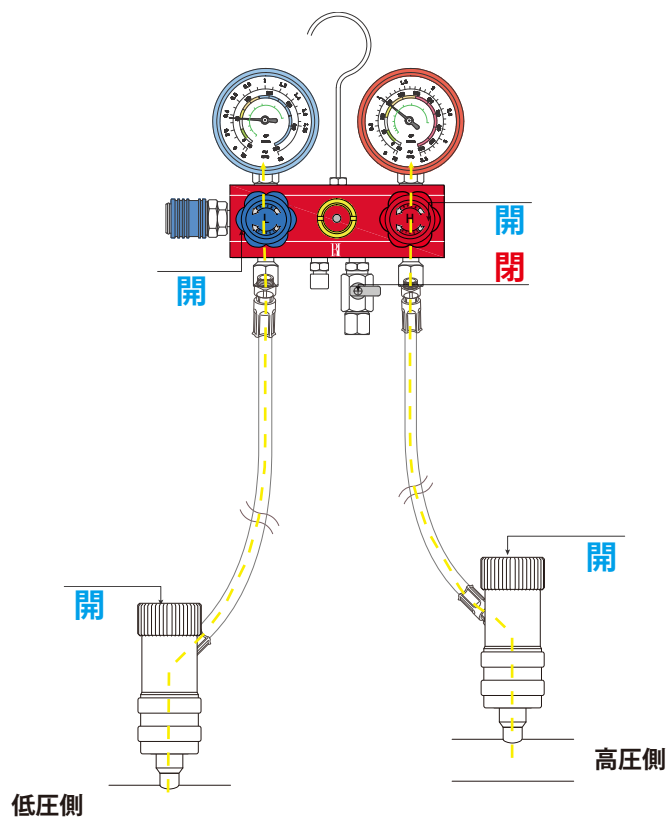
◆ 特徴

- 本体にエアゾール缶専用接続口が追加設計され、専用のアダプター（新型缶切り&クイックジョイント）を装着することで作業効率を高め、ケミカル剤などのエアゾール缶を楽々注入可できます。
- クイックカプラーにより、容易に各ポートへ接続可能です。
- 缶切りバルブはケミカル剤用、サービス缶用それぞれ同梱し、使い分けが便利です。
- 電動コンプレッサーシステム用との使い分けができるよう、PAG & POE用識別ラベル付きです。
- 本体や付属品の整理収納や出張修理時の持ち運びにも便利なキャリングケース付きです。

❖ ゲージマニホールドの使用法（参考例） ❖

圧力測定

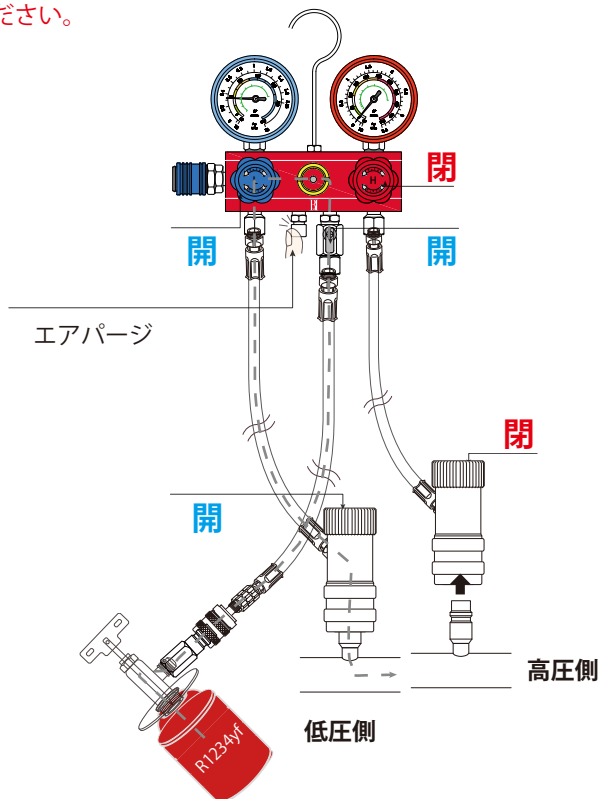
注意：エアパージは必ず行ってください
高圧・低圧バルブを閉じないと逆流し事故の原因になります。



上記の図とご注意をご参考の上、エンジンを始動（エアコン稼働）させて圧力測定を行ってください。

冷媒ガス充てん作業

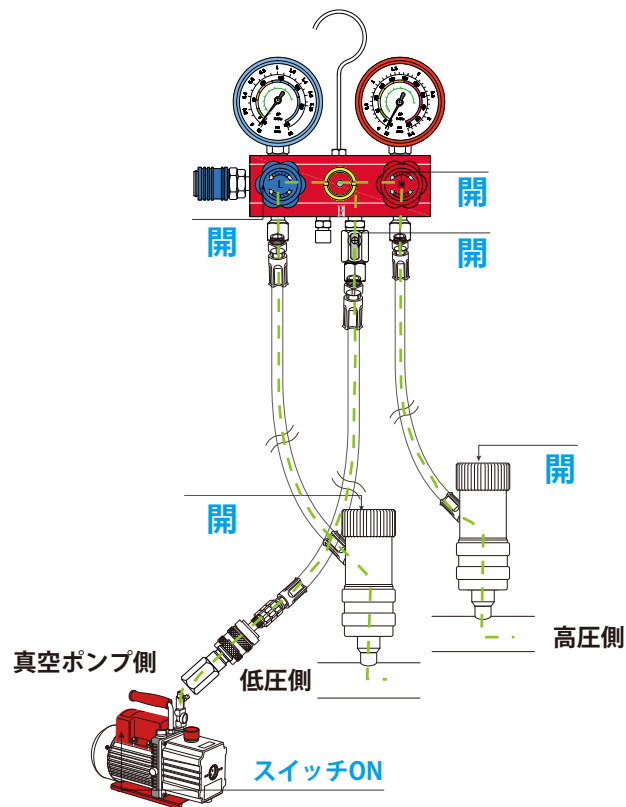
※エンジン始動中（コンプレッサーが回転中）はゲージマニホールドの高圧側バルブを絶対に開けないでください。
真空後、1本目のガスはエンジン始動せず、負圧で吸わせてください。



上記の図とご注意をご参考の上、エンジンを始動（エアコン稼働）させて冷媒ガス充てん作業を行ってください。

真空引き作業

注意：システムにガスが無い状態での作業になります。
※電磁弁付き真空ポンプ、真空ポンプ用アダプターを用いている場合には真空ポンプのスイッチを切ると同時に空気が黄色ホース内に入りますので、先にゲージマニホールドのバルブを閉じてから真空ポンプのスイッチを切ってください。

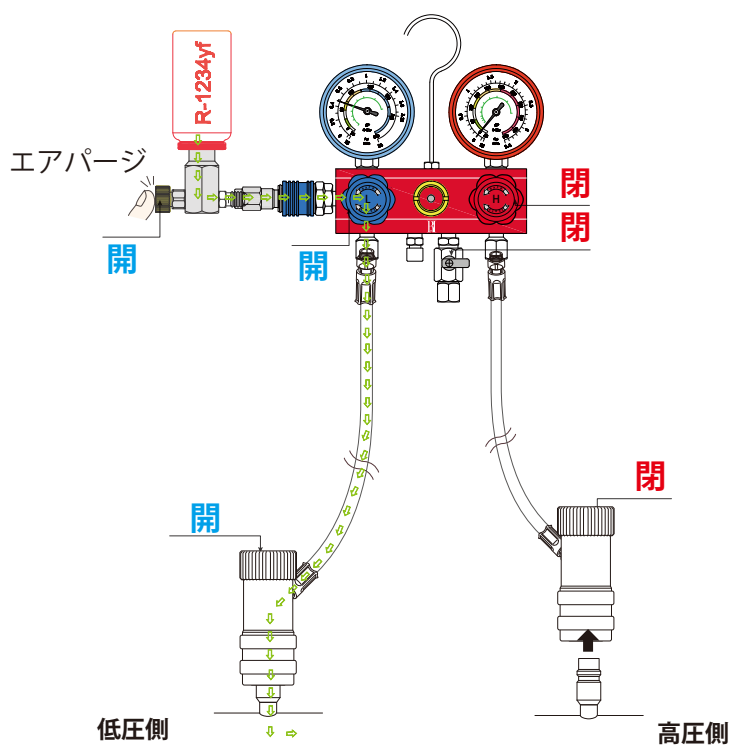


上記の図とご注意をご参考の上、真空引き作業を行ってください。

ケミカル缶充てん作業

※冷媒ガスが封入されていない車両でエアコンを稼働させると、焼き付きの原因となります。

ヒント：真空作業終了後、ガス1本を先に充てんした上、ケミカル缶の充てんを行い、その後残りのガスを充てんしてください



上記の図、ご注意そしてヒントをご参考の上、エンジンを始動（エアコン稼働）させて冷媒ガス充てん作業を行ってください。